

東法連ニュース

2023年
(令和5年)
5・6月号
第435号

一般社団法人 東京法人会連合会 © 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町5番6号 全法連会館3階

TEL 03-3357-0771 (代) URL : <http://www.tohoren.or.jp> Mail : info@tohoren.or.jp

東法連の令和4年度事業報告と決算を承認 コロナ禍前に戻りつつある各種事業

東法連理事会



あいさつする
小林栄三会長

令和5年度
第1回東法連
理事会が5月
23日、全法連
会館で開催さ

れ、東法連の令和4年度事業報告、
決算などが承認された。

事業報告では、東法連が4年度に
行った租税教育などの税関連事業を
はじめ、組織、共益・研修関連、広
報、厚生、公益、女性、青年部会な
どの事業が報告された。

東法連の会員数は約11万3千社

税関連では、昨年10月に48単位会
参画による消費税のインボイス制度
に関するアンケートを実施、150
3件の回答があったことなどが報告
された。また、今年3月に開催した
税制講演会では、元国税庁長官中原
広氏による講演を開催したことなど
が報告された。

組織関連では、会員増強において、



令和4年度事業報告・決算を承認する理事会

令和5年3月末の会員数が約11万3
千社と、昨年と比較し約2千1百社
の減少となった。前年度の減少は約
2千8百社であり、減少幅は縮小し
ている。また、前年度と比較し新規
入会数が3346社（前年度は28
65社）とコロナ禍以前の状況に戻
りつつある（令和元年度の新規入会
数は3428社）。退会理由につい
ては、休業・廃業が最も多いが、前
年度と比較すると1723社とやや

減少している（令

和3年度は179
7社）。また、一
昨年度増加した営
業不振についても
690社と昨年度
に引き続き減少し
ている（令和2年
度1046社、3
年度818社）。

広報関連では、

JR、都営地下鉄での電車内広告、
パブリシティ活動で、キッザニア東
京における租税教育事業が数多くの
マスクミに取り上げられたこと、東
法連ホームページをスマートフォン
対応にし見やすくしたことなどの報
告があった。

厚生関連では、「福利厚生制度創
設50周年キャンペーン」の令和4年
度（5年3月末）の達成率が東法連
ベースで101.2%であったと報
告された。41県連中目標達成は14県
連で、全法連ベースでは96.4%の
達成率であった。

公益関連では、地球温暖化対策報
告書の提出状況、絵はがきコンクー
ルの実施結果などが報告された。

コロナが落ち着き

事業収益費用ともに増加に

決算報告では、コロナが落ち着き、
東法連の事業活動がコロナ禍前に戻
りつつあることから、収益、費用と
も増加していることが報告された。

前年度と比較し、事業収益は約2
89万円の増加、事業費については
約784万円の増加となっている。

なお、正味財産期末残高は約3億
1千9百万円となった。

厚生共益事業委員会をはじめ他委員会とも
会員増強に関する情報を共有



あいざつする
齊藤政二委員長

東法連組織委員会

令和4年度第

3回組織委員会

(齊藤政二委員

長・大森法人会

会長)が、3月

8日、全法連会館で開催され、令和5年度組織関連の事業計画について審議した。

事業計画では、「組織・厚生合同委員会の開催など厚生共益事業委員会との連携をはじめ他の委員会とも会員増強に関する情報を共有し、各種施策の検討を進める。また、会員の退会防止に努めながら、全会一丸となった組織的な会員増強を図る。」としている。

なお、会員数は1月末現在で約11万4千社、前年同月比で約2千3百社減少している。長期的に減少傾向が続いているが、減少幅は縮小傾向になりつつあることが報告された。

江戸川北、豊島、芝、麻布
東村山法人会が受賞

会員増強・退会防止策表彰

組織委員会に引き続き、令和4年度会員増強策・退会防止策に関する表彰における感謝状贈呈式が開催され、入賞上位会の江戸川北法人会と豊島法人

会の詳細な事例が披露された。

その他、優秀賞には芝、麻布、東村山各法人会が選出されている。

江戸川北法人会が最優秀賞

最優秀賞の江戸川北法人会は、EDOKITA CARD(江戸川北法人会のメンバーズカード)と、経済的メリットのみに絞った特典一覧リーフレットの作成等が評価された。前者は、加盟店は無料で登録できるとともに、会報誌同封のリーフレットやHPにおいて無料で広告、PRすることができ

る。会員は各加盟店において割引等を受けられることができ、入会のメリットを感じることもできるというもの。後者は、法人会の具体的な金銭的メリットを一覧で提示しているもの。この両者を併用することで同会役員などから勧

奨がしやすくなり、退会防止にも役立ったとの声が多い。また、これらの資料を郵送しただけで25社の入会があった。

令和5年度事業計画を審議する組織委員会



同会ではその他、信用金庫や保険会社などで会員増強を熱心

豊島法人会が特別賞

2位に当たる特別賞は豊島法人会で、「新規会員入会キャンペーン」として、新規加入先と紹介先にクオカードを贈呈した。これを支部長らが直接届けており、訪問時に事業への参加依頼をするなど新入会員との親交を図り、退会防止にもつなげている。

また、信用金庫支店へ新入会員入会キャンペーンの協力依頼も同時に行っている。豊島区しんきん協議会傘下の



感謝状を受領する
黒沼公雄江戸川北法人会
組織委員長(右)



感謝状を受領する
鈴木但豊島法人会
組織委員長(右)

芝、麻布、東村山法人会が優秀賞

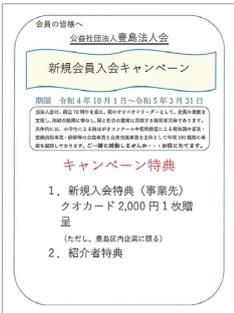
優秀賞の芝法人会は、配信型の新設法人説明会では事前申込、対面型の研修会では名刺交換会を併設することで会社情報を集め、役員との接点を確認するなど様々な機会を会員増強につなげていること等が評価された。

麻布法人会はLINEを利用して継続的に法人会のイベントやメリットを配信、入会もネットだけで完結、そ

の他 YouTube や Facebook を活用した増強を行っていること等が評価された。東村山法人会は同会の創立50周年プレ事業として1会員、新入会員1社獲得運動を実施していること等が評価された。



江戸川北法人会
EDOKITA CARD
加盟店一覧



豊島法人会
新規会員入会
キャンペーンチラシ

令和4年度単位会の広報活動表彰式と受賞会の事例発表を実施

東法連広報委員会連絡協議会



あいさつする
加藤和夫委員長

令和4年度第1回広報委員会連絡協議会(加藤和夫委員長・青梅法人会会

長)が、3月17日グランドヒル市ヶ谷で開催され、2月2日開催の第2回広報委員会の報告、並びに令和4年度単位会の広報活動に関する表彰式と受賞会の事例発表を実施した。

受賞会は浅草、新宿、板橋、八王子法人会の4会

表彰には、6会から応募があり2月2日の第2回広報委員会で選考。その結果、浅草、新宿、板橋、八王子の4会が受賞会に輝いた。

浅草法人会「ネットTVの活用」

インターネットTV型放送局の番組枠を購入。「浅草法人会わくわくチャンネル」というオリジナル番組で情報発信。番組MC、企画なども広報委員が行う。過去には税務署長がゲスト出演してインボイス制度の告知をした。署員が解説しMCが経営者の立場で署員との質疑応答をするなど、内容も充実している。支部・委員会・部会など、会全体で一丸となり番組に取り組ん



加藤委員長(左)と感謝状受領および事例発表担当者の皆様



新宿法人会の防災マップ



事例発表を行う浅草法人会



八王子法人会 税の絵はがき掲載の納税通知書発送用封筒



板橋法人会のチャリティコンサート音楽の絵本

象にした事業を継続的に実施することにより、経営者世代であるその保護者たちにも法人会をPRできる。今年で11回目の実施、毎年同

であり、会員増強や退会防止にも役立っている。番組は生放送だが、YouTubeと連携しており、いつでも視聴でき、番組の影響でHPへのアクセス数が3倍に増えた。

新宿法人会「働く人のための地震防災マップ」

新宿で働く人と経営者向けに、オリジナルで作成した地震防災マップと週記記事を5号にわたって広報誌に掲載し周知した。

マップ作製に当たっては、区役所等の防災資料から地震の際に必要な情報を集め、どのように避難行動を取れば良いのか、何が必要かを調査し、オリジナル性の高いものにしており、会社用に特化しており、会社として有事の備えを考える良い契機になる。

有事には携帯電話が使えないこともあるため、マップには公衆電話の所在などを掲載。また、マップ上に特定緊急輸送道路や緊急輸送道路も表示。災害時には一般車両の通行が制限されるため、重要な情報。表彰会選考時には、非常に公益性が高く参考になるとの意見が多かった。

板橋法人会「チャリティコンサート音楽の絵本」

子育て支援の一環として、通常クラシックコンサートでは入場不可となっている幼児、児童に、より良い音楽を提供している。このような機会はあまりない。着ぐるみのような衣装で演奏することで、絵本のように視覚的情報で興味を引付け、子供たちが自然に音楽の世界に入れる様に工夫している。事業収益の一部を寄付することを目的に板橋区と共催で実施。子どもを対象にした事業を継続的に実施することにより、経営者世代であるその保護者たちにも法人会をPRできる。今年で11回目の実施、毎年同

浅草法人会から一言

浅草法人会 広報委員会では、会員や外部への広報の新たなチャレンジとして、ネットテレビを2022年2月からスタート。放映は月1回。そのコンテンツ企画のために、2回の企画会議を行っています。

よかったことは、もちろん内外への発信の他、会員が混ざり合っ一緒に番組を作ることで、人間関係作りにつながり、先日は退会希望者の引き留めに成功しました。今後も更なる会の活性化につながることが期待しています。

時期に開催することで、「音楽の絵本」板橋法人会」といえるほどに定着している。

八王子法人会「税の絵はがきコンクール 入選作品の市役所封筒への掲載」

「税に関する絵はがきコンクール」の入賞作品が、八王子市財政部が作成する固定資産税納税通知書発送用の封筒にカラーで掲載され、広く一般市民に郵送された。八王子市からの提案により実現したため、費用負担はない。法人会の名称も、封筒に明記され、市内10万件以上に送付された。法人会と絵はがきコンクールのPRに大きく貢献。事例発表時には、「他の会にとっても参考になる。同じことを実施するにも実例があるのとなしいのでは大きく違う。多くの法人会で同様に行えば法人会の大きなPRになる。」などの意見があった。

女性フォーラム愛媛大会
全国から女性部会員約1千九百名参加



あいさつする
小林栄三会長



祝辞を述べる
星屋和彦国税庁次長

第17回法人

会全国女性フ

ォーラム・愛

媛大会が4月

13日、松山市

のアイテム愛

媛(愛媛国際

貿易センタ

ー)で開催さ

れ、全国の女

性部会員など約1900名(東法

連からは143名)が参加した。

当日は、第1部記念講演(第1

部「句会ライブ」、第2部大会式

典、第3部記念講演(第2部「講

評」、第4部懇親会の構成で行わ

れた。大会式典は、渡部京子愛媛

県連女連協会長による歓迎の挨拶

で開会。酒井喜代子全法連女連協

会長(愛知県連常任理事)、小林

栄三全法連会長(東法連会長)の

あいさつなどの後、来賓を代表し

て星屋和彦国税庁次長の祝辞、中

村時広愛媛県知事らから歓迎の祝

辞が寄せられた。続

いて愛媛県連女連協

による活動事例の報

告、大会宣言の朗読、

次回開催県連(広島県連)への大

会旗の伝達などが行われた。

キャッチフレーズは

「愛顔咲くマドンナたちの新時代

とともに拓こう媛の国から」

大会宣言では、「四国最多の26

ヶ寺を巡礼するお遍路さんの鈴の

音と、柑橘の甘い香りが春の訪れ

を感じさせる愛媛県。国生みの神

話の女神の名に由来する同県は、

瀬戸内海を臨む温暖な気候、長い

歴史が生み出すレトロな情緒と新

しさの共存する街並み、しなみ

み

み

み

み

み

み



あいさつする酒井喜代子全法連女連協会長



税に関する絵はがきコンクール優秀作品の展示



税制改正提言に関する活動パネル展示



来場者で賑わう物産展

海道をはじめとした各地の絶景が心を潤す『癒し』の国である。大会のキャッチフレーズは『愛顔咲くマドンナたちの新時代』とともに拓こう媛の国から』で、あらゆる分野における『女性活躍』を実現するため、女性部会が積み重ねてきた法人会活動の経験をもとに、一人一人が花を大きく咲かせ、新時代の明るい未来を切り開いていこう』と宣言があった。

立ち上げた俳句集団「いつき組」組長の夏井いつき氏を講師に迎え、俳句の授業「句会ライブ」を行った。第1部で来場者から俳句を募り、第2部で講評を行う聴衆参加型の講演であった。

俳人夏井いつき氏が記念講演



講演する
夏井いつき氏

式典に先立って行われた記念講演は、松山市在住の俳人で自身が

今回の法人会全国大会女性フォーラム・広島大会は、令和6年4月18日、広島市の広島グリーンアリーナで行われる。